

冬ふゆが来たき

高村光太郎たかむらこうたろう

きつぱりと冬ふゆが来たき

八やつ手での白しろい花はなも消きえ



いちようの木きもほうきになつた



きりきりともみ込こむような冬ふゆが来たき

人ひとにいやがられる冬ふゆ

草木くさきに背そむかれ、虫類むしるいに逃にげげられる冬ふゆが来たき

冬ふゆよ

僕ぼくに來こい、僕ぼくに來こい



僕ぼくは冬ふゆの力ちから、冬ふゆは僕ぼくの餌食えじきだ

しみ透とうれ、つきぬけ

火事かじを出だせ、雪ゆきで埋うめろ



刃物はもののような冬ふゆが来たき

年

練習問題れんしゅうもんだい

阪田寛夫さかたひろお

「ぼく」は主語しゅご（しゅご）です

「つよい」は述語しゅご（しゅご）です

ぼくは つよい

ぼくは すばらしい

そうじゃないからつらい

「ぼく」は主語しゅご（しゅご）です

「好き」は（しゅつご）述語しゅごです

「だれそれ」は補語ほご（ほご）です

ぼくは だれそれが 好すき

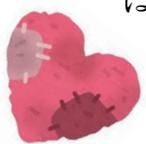
ぼくは だれそれを 好すき

どのいい方かた（かた）でも

かまいません

でもそのひとの名な（な）は

言い（い）えない



三学期は、春節休みの関係で、詩の課題の区切りを、月ごとではなく、「三学期前半」（～二月十四日）「三学期後半」とします。一年間のまとめとして「今月の詩」にしっかり取り組んでください。期待しています。

金森孝子